

## 死亡事故ゼロ2千日を達成 3月10日

豊里コミュニティ推進協議会が交通死亡事故ゼロ2千日を達成し、市役所迫庁舎で、市交通安全対策協議会長と宮城県登米警察署長から褒状が贈られました。  
褒状を受領した豊里コミュニティ推進協議会佐藤勉理事は「今回の荣誉は、関係団体が丸となって交通安全に取り組んだ結果であり、さらに記録を伸ばすよう日々努力していきたい」と、感謝の気持ちと無事故記録継続の決意を述べました。

## 遠きふるさとの思い出を語る 3月15日

第32回東京米山会総会は、東京都江東区「アンフェリション」で開催され、1年ぶりの再会に、会員たちは大いに盛り上がりました。  
総会後の懇親会では、出身地区ごとのカラオケ合唱や抽選会など、趣向を凝らした内容に、参加者は楽しいひとときを過ごしました。佐藤順二会長(新町行政区出身)は「震災後参加者が減ってきた。懐かしい顔ぶれが揃う貴重な機会なので、多くの参加を呼びかけたい」と語っていました。



## 力合わせ堤防も心もすっきり 3月13日

春の息吹が感じられるこの季節、石越町河川愛護会が「夏川・迫川の堤防一斉清掃」を実施し、地域住民約1600人が参加しました。  
当日は晴天の下、午前9時から作業を開始。参加者は、ごみの多さや雑草の繁茂などに驚きながら、ごみ拾いや草木などを焼却作業を進めました。手際のよい作業により、清掃活動は約3時間で終了。見違えるほどきれいになった堤防に、参加者たちは満足げな表情を浮かべました。

## 優雅な音色で過ごすひととき 3月10日

町内在住のヴァイオリン奏者、花海菜裕美さんとピアノ奏者、鎌田枝利さんの昼休みホールコンサートは、市役所南方庁舎1階ホールで開催されました。  
コンサートは、バイオリンと電子ピアノでピバルディの「四季」から「春」など4曲を披露。観客や用足しに訪れた来庁者たちは、素晴らしい音色に引き寄せられ、演奏が終わると大きな拍手を贈りました。終了後は、奏者2人と観客が会話をし交流を深めていました。



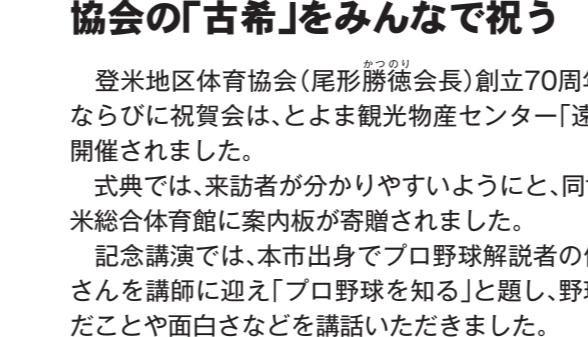
## 関心が高いマイナンバー制度 3月3日

第3回いきいきシニアセミナーは、津山公民館で開催され、受講生45人が参加しました。  
今回は「マイナンバー制度」をテーマにした講座を実施。市役所津山総合支所の職員が「マイナンバー制度について」、横山駐在所の細谷直史さんが「マイナンバーに関する詐欺について」を講演しました。  
受講生からは多くの質問があり、同制度への関心の高さが伺える講座となりました。



## 地元の伝統芸能に親しむ一日 3月25日

登米謡曲会(大海俊一会長)による登米狂言は、錦児童館で上演され、園児、児童60人が鑑賞しました。  
この上演会は、登米謡曲会会員が「地域の伝統芸能に親しんでほしい」と、昨年からの市内の老人養護施設や保育園、児童館などで開催しています。  
子どもたちは、初めて見る狂言の迫力に圧倒されていましたが、次第に引き込まれ、終盤は身を乗り出して食い入るように見入っていました。



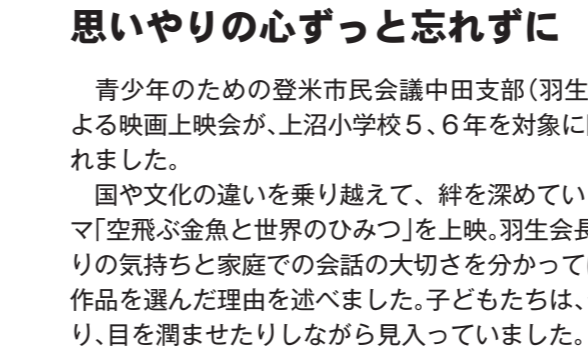
## 協会の「古希」をみんなで祝う 3月13日

登米地区体育協会(尾形勝徳会長)創立70周年記念式典ならびに祝賀会は、とよま観光物産センター「遠山之里」で開催されました。  
式典では、来訪者が分かりやすいようにと、同協会から登米総合体育館に案内板が寄贈されました。  
記念講演では、本市出身でプロ野球解説者の佐々木信行さんを講師に迎え「プロ野球を知る」と題し、野球から学んだことや面白さなどを講話いただきました。



## 自然豊かなホタルの里で交流 3月19日~20日

「ホタルの里であそぼう! その2」は、及基と源氏ポタル交流館付近を会場に開催されました。これは、青少年のためのあそびの探検隊(斗雅潤代表)と東和教育事務所が共催。当日は、市内の小学5年生6人と、東和町ジュニアリーダー3人が参加して、交流を深めました。  
初日は、ジュニアリーダーが翌日の指令ゲームなどを準備。2日目は、インリーダー研修会として小学生も参加し、会場周辺を散策しながら、指令ゲーム、野外炊飯などを楽しみました。



## 思いやりの心ずっと忘れずに 3月2日

青少年のための登米市民会議中田支部(羽生進会長)による映画上映会が、上沼小学校5、6年を対象に同校で開かれました。  
国や文化の違いを乗り越えて、絆を深めていく家族ドラマ「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」を上映。羽生会長は「思いやりの気持ちと家庭での会話の大切さを知ってほしい」と、作品を選んだ理由を述べました。子どもたちは、うなづいたり、目を潤ませたりしながら見入っていました。